

「第 13 回実践交流会」:実施の様子

2018年3月24日(土)、京都大学吉田キャンパスにて「第13回実践交流会」を開催しました。E.FORUMの研修にこれまで参加して下さった会員を中心に、総勢48名の方にご参加いただき、実践報告をしていただきました。以下、当日の様様をご報告いたします。

● オープニング

はじめに西岡加名恵教授から交流会の概要説明がありました。その後、参加者の自己紹介を行いました。



● 実践交流タイム

参加者それぞれの問題関心に沿って8グループに分かれ、持ち寄った実践資料をもとに活発な議論が行われました。



● シンポジウム「学力評価をどう改善するか？」

——学力評価スペシャリスト研修の成果と今後の課題」

学力評価スペシャリスト研で講師を担当された北原琢也先生と、実際に研修に参加された3人の先生方から、学力評価スペシャリスト研修の成果の一端をご報告いただきました。最後に質疑応答の時間を設け、フロアからの意見を交えて議論を深めました。

・ 教師の評価力の成長をどう捉えるか？

北原 琢也 先生（京都大学大学院教育学研究科・特任教授）

・ 実践報告 1：社会科学習を通して学力評価の本質と向き合う

——パフォーマンス評価とルーブリック

花岡 由美子 先生（大阪市立小林小学校・教諭）

・ 実践報告 2：私が研修で得たもの

岩佐 亜子 先生（京都市立洛南中学校・教諭）

・ 実践報告 3：国際的課題と向き合い、行動の変容を促す英語授業の実践と評価

岩見 理華 先生（神戸大学附属中等教育学校・教諭）



北原琢也先生



花岡由美子先生



岩佐亜子先生



岩見理華先生



質疑応答の様子



総括する石井英真准教授